

編集後記

今月号の特集は「鼻の皮膚病」である。鼻に好発する皮膚病といえば、基底細胞癌、脂腺腫、毛包上皮腫、fibrous papule of the nose、癬、尋常性痤瘡、酒皰、帯状疱疹のHutchinson徴候、凍瘡、日焼け、日光疹、Wegener肉芽腫、transverse nasal crease、整形後の異物肉芽腫、小鼻の横の脂漏性皮膚炎、鼻孔部の伝染性膿痂疹、ティッシュの擦れによる一次刺激接触皮膚炎、結節性硬化症のangiofibroma、先天性梅毒やRothmund-Thomson症候群の鞍鼻などをあげることができる。

皮膚病診療の特集で身体的部位をとりあげたとき、まずその部位に好発する疾患、この部位であればこの疾患は外せない、という観点で症例を選び、その部位の皮膚病変の鑑別に役立つdictionaryを作ることを目指すのだが、本誌が執筆をお願いする症例は主として学会の抄録からのピックアップなので、どうしても診断や治療に問題のないcomon skin diseaseを選ぶ機会は少なくなる。ただし、臨床経験の豊富な読者諸氏は、comon skin diseaseであっても、ハッとするような合併症や併発症状、あるいは治療の工夫や試みを経験されることも少なくないのではないかな。是非その経験を、本誌「声」の欄に投稿していただきたいと思う。一方、本誌でとりあげる症例は、興味深い考察、発展的な思考とともに掲載されている。個々の症例に対する賛同あるいは異議の意見も本誌に寄せていただき、「声」が単なる随筆ではなく、みんなでdiscussionをする場になることを期待している。

(T.A.)

次号予告

Vol.39, No.4

特集 痛みを伴う皮膚病(炎症)

- ◆editorial 浅井 俊弥
- ◆総説 帯状疱疹の痛みについて 山口 重樹
- ◆治療 壊死性軟部組織感染症(NSTI)の対策 福島 篤仁
- ◆臨床例
 - human adjuvant disease 伊藤 雄太ほか
 - 急性脾炎に伴う皮下結節性脂肪壊死症 井上 里佳ほか
 - Panton-Valentine Leukocidin(PVL)陽性メチシリン感受性黄色ブドウ球菌(Methicillin susceptible Staphylococcus aureus, MSSA)による再発性皮膚軟部組織感染症の2症例 関根 万里ほか
 - 外陰部脂肪腫の2症例 芹澤 直隆ほか
 - Bazin硬結性紅斑と考えた症例 高橋三起子ほか
 - 脾炎に合併した皮下結節性脂肪壊死症 出口 彩香ほか
 - メリケンキンソウによる皮膚障害の集団発生病 袋 秀平
 - 診断に苦慮し、抗結核薬内服奏効にて診断したBazin硬結性紅斑 中太 智香ほか
 - 特異な臨床像を呈した右前腕グロムス腫瘍 馬場加那子ほか
 - 潰瘍性大腸炎の再燃に伴って出現した結節性紅斑の2症例 梅本 淳一、高橋 一夫
 - cystic eccrine spiradenoma 布井 春佳ほか
 - マムシ咬傷に減張切開を行った症例 福原 祐衣ほか
 - 皮疹部に限局した筋炎と多発単神経炎を伴い皮膚型結節性多発動脈炎とも診断されうる結節性多発動脈炎 諫見 有紀ほか
 - 潰瘍性大腸炎患者にみられた遊走性結節性紅斑 平岩 朋子ほか
 - インフリキシマブが奏効した壊疽性膿皮症 林 宏明ほか
- ◆学会ハイライト
 - 第67回日本皮膚科学会中部支部学術大会を終えて 山西 清文
- ◆私の歩んだ道 武藤 正彦
- ◆私の歩んだ道
 - 私の歩んだ道
- ◆皮心伝心 植木 理恵
- 皮膚科診療は、謎解きゲーム
- ◆蝶の博物詩 西山 茂夫
- ◆診察室の四季 斉藤 隆三
- ◆皮膚科のトリビア 浅井 俊弥
- ◆声(質疑・応答を歓迎します)

皮膚病診療 Vol. 39, No.3(2017)

平成29年2月25日印刷

平成29年3月1日発行

1部定価2,400円(本体)+税 送料82円

年ぎめ予約購読料35,800円(本体)+税

発売所／丸善出版株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 神田神保町ビル6階

TEL 03-3512-3256(代表・受注センター) FAX 03-3512-3270

編集人 西岡 清

発行人 山田 淳史

発行所 株式会社協和企画

〒105-8320 東京都港区虎ノ門1-10-5

日土地虎ノ門ビル3階

電話：03-6838-9200(代) 03-6838-9225(編集)

振替口座：00190-0-36746

印刷所 株式会社 恒陽社印刷所

ご購入ご希望の方は直接弊社もしくは書店までお申し込みください。

© 株式会社 協和企画 2017年

・JCOPY <(社)出版者著作権管理機構 委託出版物>

本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。